

富良野市国民健康保険運営協議会議案 (平成23年度第2回)

日 時 平成24年3月22日(木) 午後6時00分
場 所 富良野市役所 大会議室

富良野市国民健康保険運営協議会

日 程

1. 開 会
2. 会長あいさつ
3. 市長あいさつ
4. 会議録署名委員指名

_____ 委員

_____ 委員

5. 報告事項

報告第1号	国民健康保険事業一般経過報告	P2～3
報告第2号	平成23年度特定健康診査・特定保健指導の 実施状況	P4～6
報告第3号	平成23年度国民健康保険特別会計決算（見込）	P7～8
報告第4号	平成24年度国民健康保険特別会計当初予算案	P9～10

(参考資料)

○平成23年度第2回国民健康保険運営協議会附属資料	別冊
---------------------------	----

6. その他
7. 閉 会

報告第1号

国民健康保険事業一般経過報告（平成23年5月以降分）

- 5月23日 平成23年度第1回国保運営協議会
31日 第三者行為求償事務講習会（札幌市）1人
- 6月24日 平成23年第2回定例会
（保険税率及び賦課限度額の改正、国保補正予算第1号）
- 7月 7日 上川総合振興局管内レセプト確認事務研修会（旭川市）2人
26日 国民健康保険事務研究会（札幌市）1人
29日 上川総合振興局管内市町村国保事務担当係長・担当者会議（旭川市）1人
- 8月 2日 北海道市長会国保主管者会議（旭川市）1人
3～5日 国民健康保険実務講習会（札幌市）1人
24日 平成23年度第1回富良野市市税等収納対策プロジェクト
29日 資格証明書交付対象者審査委員会
- 9月16日 平成23年第3回市議会定例会（国保補正予算第2号）
29日 レセプト確認事務講習会（札幌市）2人
- 10月 1日 国民健康保険資格証明書交付（77世帯120人、前年度60世帯88人）
26日 北海道市長会国民健康保険事務担当者研究会（美唄市）2人
27～28日 保健事業担当課長・保健指導係長等合同研修会（札幌市）1人
- 11月 4日 国民健康保険運営協議会会長研修会（札幌市）加藤会長
14日 国保料（税）収納率向上対策事務研究会（札幌市）1人
18日 国保総合システムブロック別説明会（旭川市）1人
24日 上川管内国民健康保険運営協議会委員研修会
南部委員、事務局2人
- 12月15日 「国保ふらの」発行
16日 平成23年第4回定例会（国保補正予算第3号）
- 1月13日 国民健康保険国庫負担金等事務研修会（札幌市）2人
2月20日 資格証明書交付対象者審査委員会
21日 平成23年度第2回富良野市市税等収納対策プロジェクト
- 3月 2日 平成24年度第1回市議会定例会（国保補正予算第4号）

○国民健康保健事業に係る平成 24 年度主な改正骨子

【H24 年度主な改正分】

- * 70 歳以上の方の窓口負担増（1 ⇒ 2 割）の 1 年間凍結延長（24 年 4 月～25 年 3 月）
- * 財政運営の都道府県単位化を円滑に進めるため都道府県調整交付金を給付費等の 7 %から 9 %に引き上げ、国の療養給付費負担金を給付費等の 3 4 %から 3 2 %とする。（平成 24 年 3 月診療分から実施）
- * 外来診療に係る高額療養費の支払い方法を現物給付化（平成 24 年 4 月 1 日から実施）

報告第2号

平成23年度特定健康診査・特定保健指導の実施状況について

1. 富良野市特定健康診査等実施状況

		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
特定健康診査	目標受診率	30%	40%	50%	60%	65%
	受診率	35.4%	39.9%	39.9%		
特定保健指導	目標実施率	20%	26%	32%	38%	45%
	実施率	29.2%	43.9%	47.2%		

2. 特定健康診査実施状況（平成24年1月末現在）

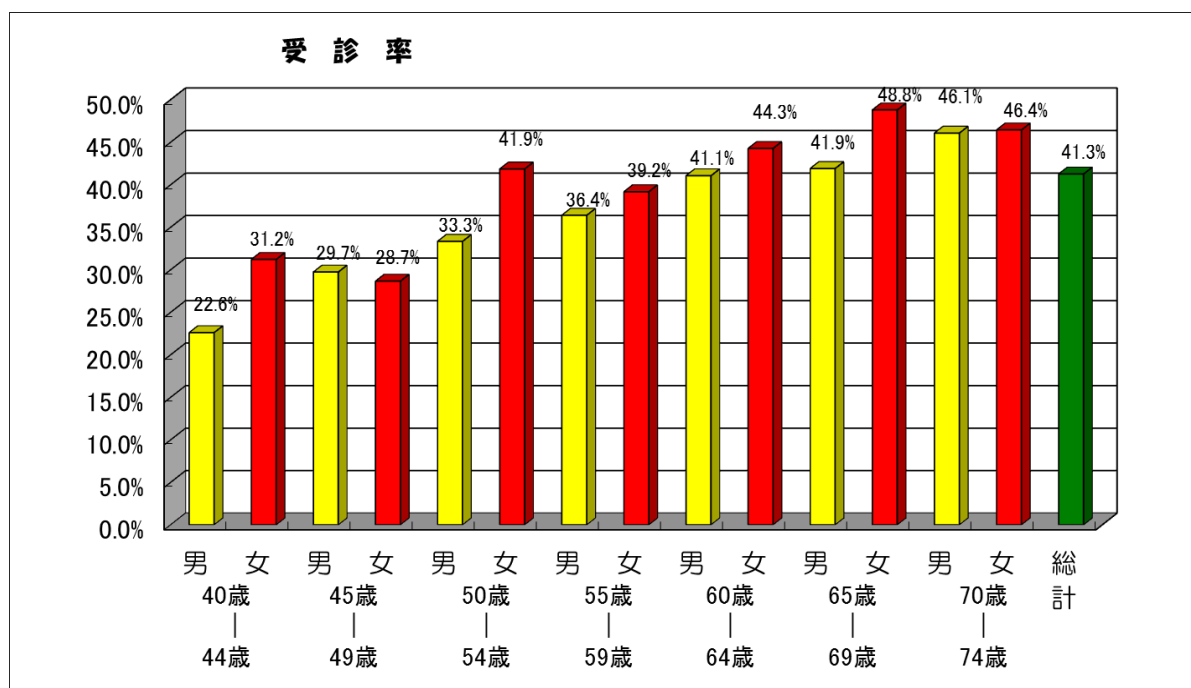
【対象者数】4,790人 ※資格喪失を差し引いた人数

【受診者数】1,976人

(※) 集団健診 1,451人、個別健診 243人、事業主健診 53人、情報提供 229人

【受診率】41.3%

3. 年代別受診率



	40歳以上44歳		45歳以上49歳		50歳以上54歳		55歳以上59歳		60歳以上64歳		65歳以上69歳		70歳以上74歳		総計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
受診者数	40人	49人	55人	49人	62人	95人	91人	114人	172人	224人	176人	303人	246人	300人	1,976人
対象者数	177人	157人	185人	171人	186人	227人	250人	291人	419人	506人	420人	621人	534人	646人	4,790人
受診率	22.6%	31.2%	29.7%	28.7%	33.3%	41.9%	36.4%	39.2%	41.1%	44.3%	41.9%	48.8%	46.1%	46.4%	41.3%

4. 特定健診未受診者対策

① 健診対象者への個別通知

- ・健診対象者全員に健診無料受診券を送付。(健診 PR・申込用紙を同封)
- ・山部・東山地区住民で過去に受診していて、7月の集団健診に申込みのない方に勧奨ハガキ送付
- ・5月診療分のレセプトより、高血圧症、糖尿病、脂質異常症、脳血管疾患、心疾患にて治療中の特定健診対象者に「情報提供による特定健診」の案内送付
- ・国保全世帯へ被保険者証送付時の勧奨(健診 PR・申込用紙を同封)
- ・過去の受診者で、7月未受診、11月の集団健診に申込みのない人に勧奨ハガキ送付

② 電話による個別勧奨

- ・山部地区・富良野地区の過去の受診者で申込みのない方に電話勧奨
- ・過去の健診で特定保健指導の対象だが、保健指導に参加しなかった人、保健指導実施者で申込みのない人に電話勧奨
- ・過去の11月受診者で、申込みのない者に電話勧奨

③ 未受診者訪問

- ・市街地域で、前年度の連合町内会の受診率が35%に達しなかった地区5カ所で、過去一度も健診を受けていない対象者を訪問(345件実施)し、未受診の理由の把握と受診勧奨

④ 地域説明会

- ・6月～9月：山部・東山農村地区の地域説明会 16カ所実施 合計278人参加
- ・12月～3月：富良野農村地区の地域説明会 17カ所実施予定 合計(3月10日現在)184人参加
【詳細には別表1のとおり】

⑤ 広報への記事掲載

- ・特定健診受診券発送、個別健診のお知らせ
- ・特定健診・特定保健指導について～制度の内容
- ・特定健診特集“あなたの健康をサポート”体験者報告

⑥ 国保窓口での周知

- ・窓口に来る被保険者にチラシによる周知。本庁・山部支所・東山支所

⑦ 医療費通知時の受診勧奨

- ・個別健診・情報提供による健診のすすめのチラシ同封

⑧ 新聞折り込み

- ・特定健診受診の勧めのチラシ折り込み

⑨ 啓発ポスター配布、啓発用旗の掲揚

- ・個別健診実施医療機関7カ所にポスター掲示。保健センターに啓発用旗の掲揚

⑩ 人間ドック・職場健診の結果提出依頼

- ・商工会議所・JAふらのの実施の健診における国保被保険者の結果提出依頼チラシの送付について協力依頼(商工会議所、山部商工会、JAふらのの本所、支所)

⑪ 特定健診実施実績

- ・別表2のとおり

別表1【平成23年度 特定健診地域説明会実施状況】

平成24年3月10日現在

山部地区	東山地区	西達布地区	老節布地区	平 沢	富良野地区	麓郷・布礼別・ 富丘・八幡丘
6/6 南陽	6/1 さくら	6/8 たちばな	6/24 松南	7/17 平沢	12/27 上御料	1/22 布礼別連合
6/6 北星	6/23 光陽	6/10 のぎく			1/18 西鳥沼	1/30 富丘
6/10 桜丘	7/24 共栄	7/10 すみれ			1/19 東鳥沼	3/6 南麓郷
6/16 中央		7/11 しらはぎ			1/22 島ノ下	3/10 西麓郷1
8/10 共進		8/26 おもと			1/22 御園連合	3/23 西麓郷共生
		9/1 つつじ			1/31 学田連合	3/27 北麓郷
					2/6 扇山連合	3/30 西麓郷共栄
					2/8 中五区	
					2/17 下五区	
					3/8 上五区	
5カ118人	3カ所38人	6カ所79人	1カ所28人	1カ所15人	10カ所(121人)	7カ所(63人)
		未実施1カ所	未実施1カ所		未実施2カ所 次年度予定2カ所	未実施2カ所

別表2【平成23年度 特定健診実施実績】※集団健診

日程	場所
7月 6日(水)	勤労青少年ホーム
7月 7日(木)	山部福祉センター
7月 8日(金)～ 11日(月)	保健センター
11月14日(月)～ 15日(火)	保健センター
11月16日(水)	東山支所
11月17日(木)	山部福祉センター
11月18日(金)～ 21日(月)	保健センター

5. 健診結果からわかる受診者の健康状態

(平成24年度2月末健診結果把握分、年度内に国保加入・離脱者含む)

① メタボリックシンドロームの実態

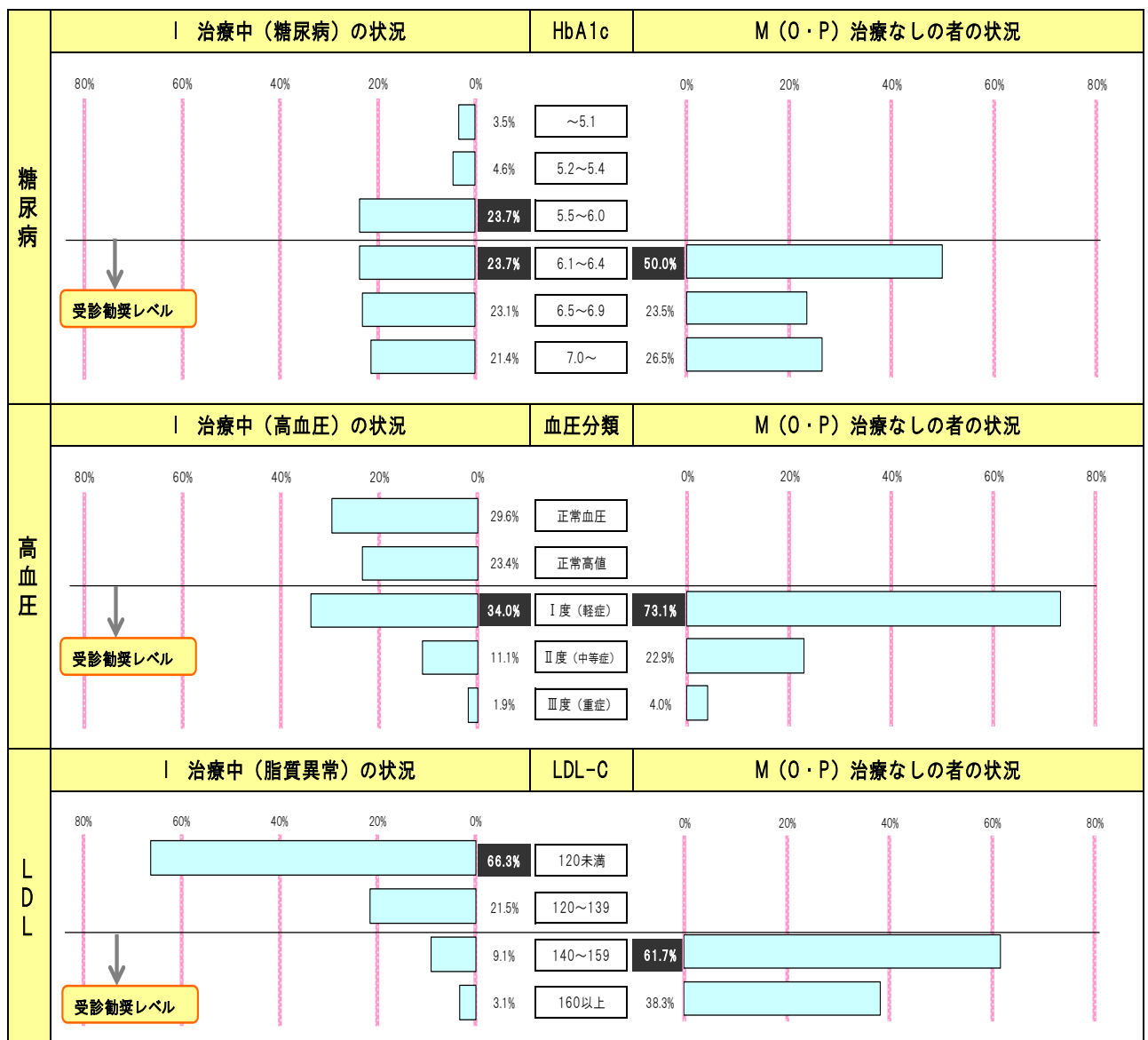
	人数			割合(上段:市、下段:国)		
	男	女	合計	男	女	合計
特定健診受診数	881	1,190	2,071			
腹囲基準該当者	412	160	572	46.8%	13.4%	27.6%
				58.6%	21.4%	33.9%
メタボリック予備群該当者	111	48	159	12.6%	4.0%	7.7%
				23.1%	8.0%	14.2%
メタボリック該当者	245	92	337	27.8%	7.7%	16.3%
				30.4%	11.4%	19.3%

※腹囲基準該当者の所見の重複状況

	高血圧	高脂血	高血糖	人数			割合(上段:市、下段:国)		
				男	女	合計	男	女	合計
メタボ該当	●	●		100	48	148	24.3%	30.0%	25.9%
							10.1%	6.5%	8.8%
	●		●	39	11	50	9.5%	6.9%	8.7%
							25.4%	28.0%	26.3%
		●	●	22	2	24	5.3%	1.3%	4.2%
							2.0%	1.7%	1.9%
	●	●	●	84	31	115	20.4%	19.4%	20.1%
							14.4%	16.9%	15.3%
メタボ予備群	●			63	37	100	15.3%	23.1%	17.5%
							34.3%	28.2%	32.2%
		●		38	8	46	9.2%	5.0%	8.0%
							2.0%	1.1%	1.7%
		●	10	3	13	2.4%	1.9%	2.3%	
						3.1%	7.9%	4.7%	
(腹囲のみ)				56	20	76	13.6%	12.5%	13.3%
							8.7%	9.6%	9.0%
合計				412	160	572	100.0%	100.0%	100.0%

★国のデータはH21国民健康・栄養調査の数値(高血糖はヘモグロビンA1cが5.5%以上)

② 高血圧・糖尿病・脂質異常症の状況



5. 特定保健指導実施状況 (平成24年2月末現在)

	対象者	利用者	率
積極的支援	98人	32人	32.7%
動機づけ支援	135人	80人	59.3%
合計	223人	112人	48.1%

報告第3号

平成23年度 国民健康保険特別会計決算（見込）

（単位：千円）

科目（款）		H22決算額	H23決算見込額	増減	摘要
歳出	総務費	75,045	71,787	▲ 3,258	一般管理費及び賦課徴収費等
	保険給付費	2,087,929	2,217,729	129,800	医療費、出産育児一時金、葬祭費、 診査手数料
	後期高齢者支援金等	322,994	340,005	17,011	支援金一人当たり46,968円
	前期高齢者納付金等	557	1,010	453	納付金一人当たり100円 事務費4.30円
	老人保健拠出金	23	22	▲ 1	前々年度精算に係る事務費
	介護納付金	141,284	156,292	15,008	概算165,391千円 精算△9,099千円 被保険者3,052人
	共同事業拠出金	398,902	391,531	▲ 7,371	高額分71,784千円 共同分319,747千円
	保健事業費	22,260	23,666	1,406	レセプト点検、医療費通知、特定健康 診査等
	基金積立金	12	1	▲ 11	
	公債費	0	51	51	
	諸支出金	17,147	35,206	18,059	過誤納による還付金等 前年度国庫返還分23,146千円
	予備費	0	0	0	
歳出合計	3,066,153	3,237,300	171,147		
歳入	国民健康保険税	770,835	803,958	33,123	現年分見込収納率 滞繰分見込収納率
	国庫支出金	768,657	776,752	8,095	負担金607,467千円 補助金169,105千円
	療養給付費交付金	73,526	135,013	61,487	前々年度精算額9,469千円
	前期高齢者交付金	599,890	692,582	92,692	概算691,458千円 精算1,124千円 被保険者7,677人
	道支出金	131,726	146,568	14,842	負担金20,816千円 補助金125,752千円
	共同事業交付金	386,170	417,123	30,953	高額分101,911千円 共同分315,212千円
	財産収入	12	1	▲ 11	
	繰入金	316,847	255,255	▲ 61,592	法定繰入分254,643千円 給付基金繰入分612千円
	繰越金	12,677	529	▲ 12,148	
	諸収入	6,942	9,519	2,577	前々年度老人保健精算額5,922千円
歳入合計	3,067,282	3,237,300	170,018		
歳入歳出差引額	1,129	0	▲ 1,129		
年度当初基金残高①	36,206	12			
前年度決算剰余金②	20,000	600			
基金繰入金③	56,206	612			
基金積立金④	12	1			
年度末基金残高①+②-③+④	12	1			

平成 23 年度決算は、32 億 3,700 万円程度となる見込みです。

歳出で前年度決算額と比較し増減が大きいものとして、保険給付費で 1 億 2,980 万円、後期高齢者支援金で 1,701 万円、介護納付金で 1,500 万円、平成 22 年度療養給付費負担金精算により諸支出金で 1,805 万円の増額、共同事業拠出金で 737 万円の減額となっています。

歳入では、前年度決算額と比較して増減が大きいものとして、国民健康保険税は平成 23 年度税率改正を行ったことにより収納率を現年分 93.88%・滞納繰越分を 13.83%で見込み 3,312 万円の増、療養給付費等交付金は退職者保険給付費に伴い 6,148 万円の増、前期高齢者交付金は前々年度精算額の皆減もあり 9,269 万円の増、共同事業交付金は 3,095 万円の増、諸収入は前々年度の老人保健清算金により 257 万円となっています。

今年度は、保険給付費が前年度より増えることを予想し、財源不足分について国民健康保険税の税率改正を行ってきましたが、保険給付費の予想以上の伸び、療養給付費負担金の平成 22 年度精算金があり、それらを 12 月補正予算で増額することで対応しています。歳出の増に対して、歳入では共同事業で拠出金に対して交付金が約 6,000 万円多く交付されることとなりました。

最終的な収支は、歳入は 3 月末に確定する国の調整交付金本係数による交付額、歳出では 4 月に確定する 2 月診療分の療養給付費等があるため不確定ですが、収支はプラスになる見込みです。

国民健康保険事業保険給付基金は、今年度全額繰入を行い現在残高がない状況です。平成 23 年度決算がプラスになった場合積立を行います。医療費の急な増額分を調整するには十分な額とはいえません。

報告第4号

平成24年度 国民健康保険特別会計当初予算案

(単位：千円)

科目(款)		H23当初予算額	H24当初予算額	増減	摘要
歳 出	総務費	70,807	66,569	▲ 4,238	一般管理費及び賦課徴収費等
	保険給付費	2,014,626	2,212,902	198,276	医療費、出産育児一時金、葬祭費、 診査手数料
	後期高齢者支援金等	339,413	360,678	21,265	支援金一人当たり49,497円 事務費3.70円
	前期高齢者納付金等	987	427	▲ 560	納付金一人当たり62円 事務費3.60円
	老人保健拠出金	22	22	0	精算に係る事務費
	介護納付金	156,568	162,450	5,882	概算164,688千円 精算△2,238千円 被保険者3,052人
	共同事業拠出金	409,352	400,775	▲ 8,577	高額医療費(30万円超)の平準化をは かるための拠出金
	保健事業費	25,997	25,124	▲ 873	レセプト点検、医療費通知、特定健康 診査等
	基金積立金	1	1	0	
	公債費	126	51	▲ 75	
	諸支出金	2,501	2,501	0	過誤納による還付金等
	予備費	10,000	10,000	0	
歳出合計	3,030,400	3,241,500	211,100		
歳 入	国民健康保険税	745,185	782,842	37,657	課税標準△5%、被保・世帯数△2.5% で推計
	一部負担金	2	2	0	一部負担金徴収猶予分
	国庫支出金	719,731	830,612	110,881	
	療養給付費交付金	93,283	153,529	60,246	
	前期高齢者交付金	693,686	633,473	▲ 60,213	概算712,283千円 精算△78,810千円 被保険者7,506人
	道支出金	132,393	150,127	17,734	
	共同事業交付金	375,830	359,985	▲ 15,845	80万円超×59/100×交付率 30万円超×80万円×59/100×交付率
	財産収入	1	1	0	
	繰入金	261,495	243,714	▲ 17,781	法定繰入分
	繰越金	1	529	528	
	諸収入	8,793	86,686	77,893	老人保健精算額4,421千円 一般会計借入金80,000千円
歳入合計	3,030,400	3,241,500	211,100		

平成 24 年度当初予算は、平成 23 年度当初予算と比較して 2 億 1,110 万円増額となる 32 億 4,150 万円となりました。新年度の予算策定にあたっては、前年度の医療費の見込をベースとして保険給付費を見込み、後期高齢者支援金・前期高齢者納付金・介護納付金及び共同事業費拠出金は国などの公示基準に基づき算出しました。保健事業費は、医療費適正化に向けたレセプト点検事業・医療費通知事業、予防に関してはインフルエンザ予防接種、特定健康診査・特定保健指導に要する経費です。

歳出は、全体で前年度当初と比較して 2 億 1,110 万円増の 32 億 4,150 万円となりました。増額となった主な要因は、保険給付費が 1 億 9,827 万円増、後期高齢者支援金が 2,126 万円増、介護納付金が 588 万円増によるものです。

歳入は、全体で前年度当初と比較して 1 億 3,110 万円増の 31 億 6,150 万円となりました。内訳としては、国民健康保険税は平成 23 年度所得に対して所得水準を前年比△5%、被保険者及び世帯数は減少傾向を勘案し△2.5%としたものの、平成 23 年度の税率改正により前年度当初予算に対して 3,765 万円増を見込んでいます。その他の歳入では、保険給付費の増に伴い、国庫支出金、療養給付費等交付金、道支出金が増額となっている一方、共同事業拠出金の減、前期高齢者交付金は前々年度の清算金△7,881 万円があるため前年度当初と比較して 6,021 千円の減額となっています。

新年度予算は、歳入 31 億 6,150 万円に対して歳出 32 億 4,150 万円となっており、不足する 8,000 万円については一般会計借入金を諸収入に計上して収支均衡をはかっています。一般会計借入金は当初予算段階の不足額を調整するために計上したものです。本来、不足額については税率改正を行い解消すべきものですが、平成 20 年度の制度改正以降毎年税率改正を行っていることから平成 24 年度については税率改正を見送ることとして予算編成を行っています。今後、平成 23 年度決算状況と平成 24 年度予算の推移をみて最終的に不足額が発生した場合には、北海道国民健康保険広域化等支援基金からの借入や繰上充用などで平成 24 年度決算に対応することになります。いずれの方法を選択したとしても赤字を抱えることに変わりがないことから、赤字額の解消の方法について平成 24 年度に検討を進めていきます。